

駅前広場における交通空間及び環境空間の構成要素の特徴

Characteristics of Transportation and Environmental Space Components in Station Plazas

○吉田薫澄¹, 山本里輝¹, 橋本瑛², 竹中彩², 泉山墨威³

*Kasumi Yoshida¹, Riki Yamamoto¹, Teru Hashimoto², Aya Takenaka² and Rui Izumiyama³

Abstract : In recent years, station plazas in Japan have been redeveloped to incorporate both “transportation space” and “environmental space,” with an emphasis on providing comfortable spaces for users. In this study, 107 station plazas that have been developed in Japan were surveyed, focusing on their spatial classification and the characteristics of their components. The study revealed that the number of stations with environmental spaces is increasing, and that different exits often serve different purposes. Furthermore, it was found that stations with environmental spaces tend to have more furnishings and host more events. The findings underscore the importance of designing station plazas that effectively meet the needs of users and enhance the overall station experience.

1-1. 研究の背景及び目的

1987年の日本国有鉄道の分割・民営化^[1]以降, 日本各地の駅前広場では交通結節機能を有する「交通空間」^{注1)}に加え, 交流機能等を有する「環境空間」^{注2)}を合わせた駅前広場の再整備が加速した (Figure 1). また, 駅前広場計画に求められる基本理念及び機能等を取りまとめた駅前広場計画指針 (98年式)^[2]においても, 都市の広場機能を果たす「環境空間」の重要性の示唆があることから, 都市の発展とともに駅前広場における「環境空間」の役割が重視されてきたと考えられる. さらに, 近年の人口減少及び高齢化の急激な進行に伴い, 公共交通機関と連携した都市構造である「コンパクト+ネットワーク」^[3]が進められている. 市民の生活には移動を伴うため, 公共交通サービスの中核を担う駅は, 利用者へ快適な滞留空間を提供する必要がある^[3].

以上より, 公共性の高い駅前広場の役割は, 市街地形成や交通体系等の社会情勢の変化に伴い, 今後さらに多様化することが予想される. 中でも, 利用者の幅広いニーズに応える際は, 「環境空間」の計画が重要であると考える.

しかし, 「交通空間」及び「環境空間」における空間機能の構成要素が不明瞭であるため, 今後の駅前

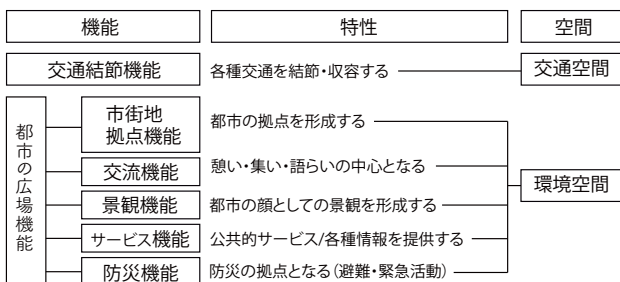


Figure 1. 駅前広場の機能^[2]

広場の計画時に, 「環境空間」に必要な要素が確保されない恐れがある.

本研究の目的は, 駅前広場の「環境空間」及び「交通空間」に着目し, 駅前広場の構成要素の特徴を明らかにすることである.

1-2. 研究の方法

本研究は, インターネット調査^{注3)}により, 全国の駅前広場を対象に, 2024年8月までに駅前広場再整備が計画決定された事例の中から, 整備済みの107の駅前広場を抽出する. その後, 駅前広場の自治体ホームページやGoogle Earthのストリートビューを用いて, 「1日の乗降客数」「ファニチャーの有無」「イベントの開催」「1階部分の用途」に関する情報を整理する.

2. 駅前広場の空間分類及び構成要素の特徴と分析

再整備済みの107の駅前広場を対象に, 「交通空間」及び「環境空間」で整理し, 「交通空間」のみを有する駅前広場 (以下, 「交通型」), 「環境空間」のみを有する駅前広場 (以下, 「環境型」), どちらも有する駅前広場 (以下, 「併用型」) に分類した. さらに, 駅前広場の構成要素を「1日の乗降客数」「ファニチャー」「イベントの開催」「1階部分の用途」に大別し, 整理した (Table 1).

2-1. 駅前広場の空間機能の傾向

調査対象の駅前広場107件を調査した結果, 「併用型」が67件と最も多く, 次いで「交通型」が34件, 「環境型」が4件となった. 「環境型」は, 2009年のたまプラーザ駅北以降, 2010年代は再整備が行われておらず, 2020年代で新小岩駅北, 桜木町駅南, 甲南山手駅南の3件で再整備が行われている. これは, 公共交通機関の発達やキス・アンド・ライド等により, 待ち合わせや休息といった駅前広場における交流機能の需要が高まったことが考えられる.

1 : 日大理工・学部・建築 2 : 日大理工・院 (前)・建築 3 : 日大理工・教員・建築

さらに、「交通型」の36件のうち、出口ごとに着目すると、同駅の異なる出口に「環境空間」を有する駅が12件ある。このことから、出口で「交通空間」と「環境空間」の役割分担があると考えられる。

2-2. 駅前広場の構成要素の傾向

駅前広場の構成要素において、座り場^{注4)}に着目する。「ベンチ」は、「併用型」が51件と最も多く、次いで「交通型」が15件、「環境型」が3件であった。「みなしベンチ」^{注5)}は、「併用型」が40件と最も多く、次いで「交通型」が7件、「環境型」が3件であった。芝生は、「併用型」及び「交通型」のみに3件であった (Figure 2)。「環境空間」を有する「環境型」及び「併用型」は「交通型」と比較して「ベンチ」及び「みなしベンチ」の総数が約2倍となった。また、「イベントの開催」は「環境空間」を有する駅前広場に限られている。このことから、駅前広場における「環境空間」は、利用者の活動の幅を広げ、促進に寄与すると考える。

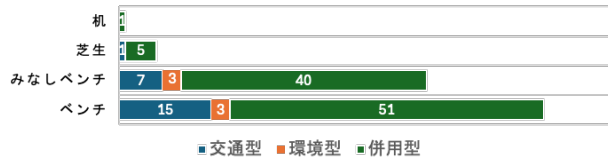


Figure 2. 空間機能とファニチャーの種類の関係

3. まとめ

駅前広場における交通空間及び環境空間の構成要素の特徴について、①2020年代に「環境空間」を有する駅前広場の再整備が増加したこと、②駅出口で「交通空間」と「環境空間」の役割を分担する駅が存在すること、③「環境空間」を有する駅前広場は、「交通型」に比べて、座り場及びイベント開催等の構成要素が多いことが明らかとなった。

以上より、「環境空間」を備えた再整備により、駅前広場に座り場等の滞留空間が創出され、利用者の多様なニーズへの対応が可能となることが考えられる。今後は、駅前広場の構成要素をより詳細に調査する必要がある。

補注

- 注1) 車道・バス及びタクシーバス・駐車場を含む空間を「交通空間」とする。
- 注2) 立入可能な広場状の空間を含む空間を「環境空間」とする。
- 注3) インターネットの検索エンジンでは、「駅前広場」+「再整備」のand検索を用いる。
- 注4) 本稿における座り場は、ベンチ、みなしベンチ、芝生とする。
- 注5) 主用途ではないが、座ることのできるものを指す。

参考文献

- [1] JR東日本グループ(2017)「国鉄改革と完全民営化」
- [2] 社団法人 日本交通計画協会(1998)「駅前広場計画指針-新しい駅前広場計画の考え方-」, 技報堂出版
- [3] 国土交通省(2017)「コンパクト・プラス・ネットワークの推進について-生活利便性の維持・向上のための住居の誘導-」

Table 1. 駅前広場の空間要素及び構成要素一覧

No	調査年	所在地	駅名(駅)	乗降客数	出口	配置関係		ファニチャー 座り場			イベントの開催				一階部分の用途				
						交通空間	環境空間	交通+環境	ベンチ	みなしベンチ	芝生	机	飲食	物販	プラザ	その他			
1	2004	東京都	千代田区外神田	秋葉原	575,981	東	●												
2						西		●											
3	2004	宮城県	仙台市	仙台	285,824	東		●											
4						西		●											
5	2006	神奈川県	小田原市	小田原	148,544	東		●											
6						西		●											
7	2008	宮城県	日南市	日南	3,688	東		●											
8						西		●											
9	2009	神奈川県	横浜市	たまプラーザ	77,074	北		●											
10						南		●											
11	2011	神奈川県	川崎市	川崎	351,752	西		●											
12						東		●											
13	2011	北海道	旭川市	旭川	6,890	北		●											
14						南		●											
15	2013	三重県	伊勢市	伊勢	10,868	北		●											
16						南		●											
17	2014	石川県	金沢市	金沢	70,920	東		●											
18						西		●											
19	2014	青森県	八戸市	八戸	14,536	西		●											
20						東		●											
21	2014	高知県	四万十市	中村	923	-		●											
22	2015	東京都	世田谷区	二子玉川	266,172	東		●											
23						北		●											
24	2015	兵庫県	姫路市	姫路	91,574	南		●											
25	2015	京都府	京都市	西京極	12,961	-		●											
26	2016	東京都	武蔵野市	武蔵境	143,173	南		●											
27						北		●											
28	2016	神奈川	横浜市	金沢文庫	-	西		●											
29	2017	東京都	千代田区丸の内	東京	602,558	東		●											
30						西		●											
31	2017	神奈川県	川崎市	新百合ヶ丘	108,661	北		●											
32						南		●											
33	2017	兵庫県	明石市	明石	91,148	南		●											
34						北		●											
35	2019	東京都	豊島区	大塚	52,252	南		●											
36						北		●											
37	2017	茨城県	土浦市	土浦	26,686	東		●											
38						西		●											
39	2017	岡山県	津山市	津山	3,688	北		●											
40	2018	広島県	廿日市市	廿日市市役所	8,526	-		●											
41	2018	岐阜県	高山市	高山	2,816	東		●											
42						西		●											
43	2019	神奈川県	鎌倉市	鎌倉	102,266	西		●											
44						東		●											
45	2019	広島県	尾道市	尾道	9,396	東		●											
46	2019	静岡県	富士市	新富士	5,048	北		●											
47						南		●											
48	2019	宮城県	牡鹿郡女川町	女川	444	-		●											
49	2020	千葉県	千葉市	千葉	209,586	西		●											
50						東		●											
51	2020	東京都	大田区	大森	145,136	東		●											
52	2020	東京都	葛飾区	新小岩	133,070	南		●											
53						北		●											
54	2020	兵庫県	神戸市	鈴蘭台	12,518	東		●											
55						西		●											
56	2020	宮城県	宮崎市	宮崎	9,862	東		●											
57						西		●											
58	2020	栃木県	塩谷郡高根沢町	宝積寺	2,027	-		●											
59	2021	神奈川県	厚木市	本厚木	114,922	北		●											
60						南		●											
61	2021	神奈川県	座間市	座間	18,462	東		●											
62	2021	埼玉県	行田市	行田	10,808	東		●											
63						西		●											
64	2021	熊本県	熊本市	熊本	35,618	東		●											
65						西		●											
66	2022	福岡県	福岡市	博多	621,766	西		●											
67						東		●											
68	2022	神奈川県	横浜市	桜木町	168,277	北		●											
69						南		●											
70	2022	栃木県	宇都宮市	宇都宮	89,000	西		●											
71						東		●											
72	2022	兵庫県	神戸市	谷上	35,176	北		●											
73	2022	佐賀県	佐賀市	佐賀	21,238	北		●											
74						南		●											
75	2022	兵庫県	神戸市	鷹取	14,240	北		●											
76						南		●											
77	2022	兵庫県	神戸市	西鈴蘭台	5,240	-		●											
78	2022	兵庫県	神戸市	有馬口	804	-		●											
79	2010	岡山県	岡山市	岡山	126,543	東		●											
80						西		●											
81	2023	京都府	長岡京市	長岡京	31,244	西		●											
82						東		●											
83	2023	東京都	小平市	鷹の台	23,939	-		●											
84	2023	静岡県	沼津市	原	20,225	-		●											
85	2023	福岡県	北九州市	下曾根	11,840	北		●											
86						南		●											
87	2023	広島県	大竹市	大竹	5,148	東		●											
88						西		●											
89	2023	山梨県	甲府市	塩山	2,988	東		●											
90	2023	兵庫県	神戸市	大池	2,987	東		●											
91	2023	兵庫県	神戸市	花山	2,818	東		●											
92	2023	長野県	安曇野市	明科	796	東		●											
93	2024	富山県	富山市	富山	65,477	北		●											
94						南		●											
95	2024	大阪府	枚方市	樺葉	52,842	東		●											
96	2024	兵庫県	神戸市	灘	31,406	北		●											
97						南		●											
98	2024	福井県	福井市	福井	26,994	東		●											
99						西		●											
100	2024	兵庫県	神戸市	甲南山手	19,684	北		●											
101						南		●											
102	2024	大阪府	箕面市	箕面船場阪大	14,000	北		●					</						